



文房具としてのタブレット活用

現在、写真のように、授業のあらゆる場面でICT機器が活用されています。特に1人1台端末として配付されているタブレットは、今後、鉛筆やノートと同じように文房具のように活用することが推奨され、以下のような使い方が増えていきます。今後も、本校では学習を効果的に進める手段として活用していきます。

- ・タブレットの家庭への持ち帰りの日常化
- ・教科書のQRコードを活用した学習
- ・タブレットを活用した家庭学習
- ・AIドリルを活用した家庭学習

※「AIドリル」とは、児童の習熟度を分析し、その子どもに応じた出題や問題の反復練習を行うドリルのこと

